



1892年(明治二十五年)十二月二十三日大阪にて
結婚せし静子夫人を伴い熊本に至り英学校に教
導役を執る傍ら近交許七磨原の民家に住し札幌
用の支那靴を使用して著述に従事せらる。

上図は當時の貧乏生活を營みし頃の照影である。

(先生三十三歳 静子夫人二十歳)